



れいめい高校

■所在地 薩摩川内市隈之城町2205

■校訓 不屈不撓

■学科 (全学科、男女共学)

・文理科

・普通科【普通コース・キャリアアップコース】

・工学科



学校の特色

- 知育、徳育、体育のバランスのとれた全人教育
- 基礎教科における授業内容の精選
- 達成度に応じた個別指導
- 挨拶、容儀・服装などの基本的生活習慣の確立

変動する社会に柔軟に対応するために「気づき」「考え」「行動する」この3つを常に念頭において、本気になって勉強や部活動に取り組み、目標(ゆめ)実現のために努力する生徒の育成を目指します。また、「強い心」を育てるために、学校生活の中でしつけ教育を徹底するとともに、コミュニケーション能力を養い、生徒自ら「明るく・楽しく・元氣よく」、自主的に行動する生徒主導型の学校を目指します。さらに、生徒一人ひとりが持つ潜在能力を最大限に引き出すために、教師が本気で生徒と向き合い、目標の実現に向かって親身になって最後まで支援します。

今月はれいめい高校の4人です

輝け若人

私が建築関係の仕事に興味を持ったのは中学3年のころ。特やりたいことが見つからず、悩んでいた時期だった。そんな時、さまざまな職業を紹介するテレビ番組を見て、建築の仕事をしている人が一番格好よく、その人みたいになりたいと思った。そこで父親の友人ある大工職人から建設業の話の聞き、

高校は、建築の専門学科があり、県内外の建設企業に多くの卒業生を輩出している「れいめい高校」に入学。実習、職場体験学習など地域の建設業の方々が協力してくれたおかげで、さまざまなこと

ことばかりで覚えることも多く、とても大変だった。しかし、駐車場の車止め施工や内装

を学んだ。特に建築製図と建築CAD実習に興味を持ち、力を注ぎ

ても理解を深めた。2日間にわたる研修は、建設産業で働く新人や若手社員を対象に実施された。職業人講話では梅コンサル

の梅木時文社長が「資格取得と人生設計」と題し、業界で働くために有益となる資格等を説明。九州地方整備局

鹿兒島労働局は11月27日、来春の新規大卒・高卒予定者の就職内定状況(10月末現在)を発表した。県内での就職を希望する大学卒業予定者の内定率は63・1%となり、調査を開始して以来、最高値を記録。高校生の県内就職希望者の内定率も81・8%と平成以降4番目の高水準となった。建設業の県内求人受理

建設業 34%増

建設業の県内求人受理状況は前年同月比34・4%増の790人となっている。大学生の就職内定率は、県内が前年同月比7・7ポイント増の63・1%、県外は同2・4ポイント増の74・2%となり、全体で68・6%(同5・8ポイント増)。双方を合わせた内定率も調査開始以来、最高値となった。高校生の県内就職内定率は81・8%(前年同月比2・2ポイント増)で、10月末時点で8割を上回ったのは25年ぶり。県内求人数も前年同月比22・7%増の5715人と高い水準にあり、このうち建設業は前年同月より202人多い790人と、産業別でも高い伸びを見せている。

製図では、最初から設計や作図することが難しく、忍耐力を要した。その分、完成したときは大きな達成感と自信を得た。CADはコンピューターを使用するので操作が難しく、詳細な図面作成が大変だった。職場体験学習では設計事務所にお世話になり、社員によるCAD設計製図の素早さを目の当たりにして感動した。この体験から建築士になる夢を持つことができた。卒業後は、県内にある建築系の専門学校に入学し、さらに専門性に磨きをかけ、一人前の建築士を目指したい。



れいめい高校 工学科 3年

竹中 佑介 さん

一人前の建築士に

ら建設業の話の聞き、建築のことを何も知らない自分にとって、毎日の勉強が初めて学ぶ

いれい高校」に入学。建築のことを何も知らない自分にとって、毎日の勉強が初めて学ぶ

実習、職場体験学習など地域の建設業の方々が協力してくれたおかげで、さまざまなこと

ことばかりで覚えることも多く、とても大変だった。しかし、駐車場の車止め施工や内装

を学んだ。特に建築製図と建築CAD実習に興味を持ち、力を注ぎ

ても理解を深めた。2日間にわたる研修は、建設産業で働く新人や若手社員を対象に実施された。職業人講話では梅コンサル

の梅木時文社長が「資格取得と人生設計」と題し、業界で働くために有益となる資格等を説明。九州地方整備局

鹿兒島労働局は11月27日、来春の新規大卒・高卒予定者の就職内定状況(10月末現在)を発表した。県内での就職を希望する大学卒業予定者の内定率は63・1%となり、調査を開始して以来、最高値を記録。高校生の県内就職希望者の内定率も81・8%と平成以降4番目の高水準となった。建設業の県内求人受理

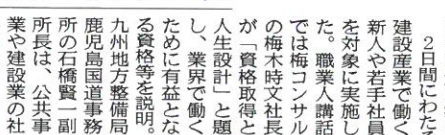
建設業 34%増

将来イメージ持って

建設産業新規入職者研修会

建設協人材育成室

建設産業協会(川畑俊彦会長)は11月28、29日、鹿兒島市の県建設センターで建設産業新規入職者研修会を開催した。34人が参加し、社会人としてのマナーやコミュニケーション力を上げるためのノウハウを習得。資格取得の有益性や公共事業と建設業のかかわりについて



鹿兒島市の県建設センターで

グループワークで発表する参加者

建設業の県内求人受理状況は前年同月比34・4%増の790人となっている。大学生の就職内定率は、県内が前年同月比7・7ポイント増の63・1%、県外は同2・4ポイント増の74・2%となり、全体で68・6%(同5・8ポイント増)。双方を合わせた内定率も調査開始以来、最高値となった。高校生の県内就職内定率は81・8%(前年同月比2・2ポイント増)で、10月末時点で8割を上回ったのは25年ぶり。県内求人数も前年同月比22・7%増の5715人と高い水準にあり、このうち建設業は前年同月より202人多い790人と、産業別でも高い伸びを見せている。

コミュニケーション力向上の研修では、GrainD Bless(グランブレス、鹿兒島市の有川純一代表らがグループワーク等を通じて指導。「人にはさまざまなタイプがあるので、仕事での接し方も大事。まずは自分を知り、相手の理解につなげてほしい」と呼び掛けた。

このほか、現場で広がるICTの活用(講師「福井コンピュータ」やビジネススマナールの基本(同「カルチャー・コネクション」)などの講話もあった。建設協人材育成対策室の加世田登室長は「各自がこの仕事で頑張っていきたいという動機付けになれば何より。将来のイメージを持って、やりがいを見いだしてもらえたら」と期待を込めた。

北海道から沖縄まで、地域密着の建設専門紙が厳選!!

- 中央ニュース**
入札契約・技術者制度、法改正・予算建設経営...
- 地方ニュース**
注目プロジェクト、制度改革、地域建設業の動向...
- 特集**
連載企画、建設業経営に役立つ特集記事

「全国版 建設メールマガジン」の配信登録方法

電子メール(kbook@kentsu.co.jp)にて受け付けます。
「地方建設専門紙の会メールマガジン配信希望」と明記し、①会社名②お名前③都道府県名④配信先メールアドレス⑤職種—を上記アドレスまで送信してください。

地方建設専門紙の会会員
建設新聞社 メディア事業部 TEL.03-5425-2070

地方建設専門紙の会とは
全国の建設専門紙19社32紙がタッグを組んだ広域ネットワーク 合計読者数は全国74万 地元建設専門紙ならではの情報を各地域でお届けしています。

無料配信 毎週1回

全国の注目ニュースが一目でわかる!

地方建設専門紙の会発行

全国版建設メールマガジン